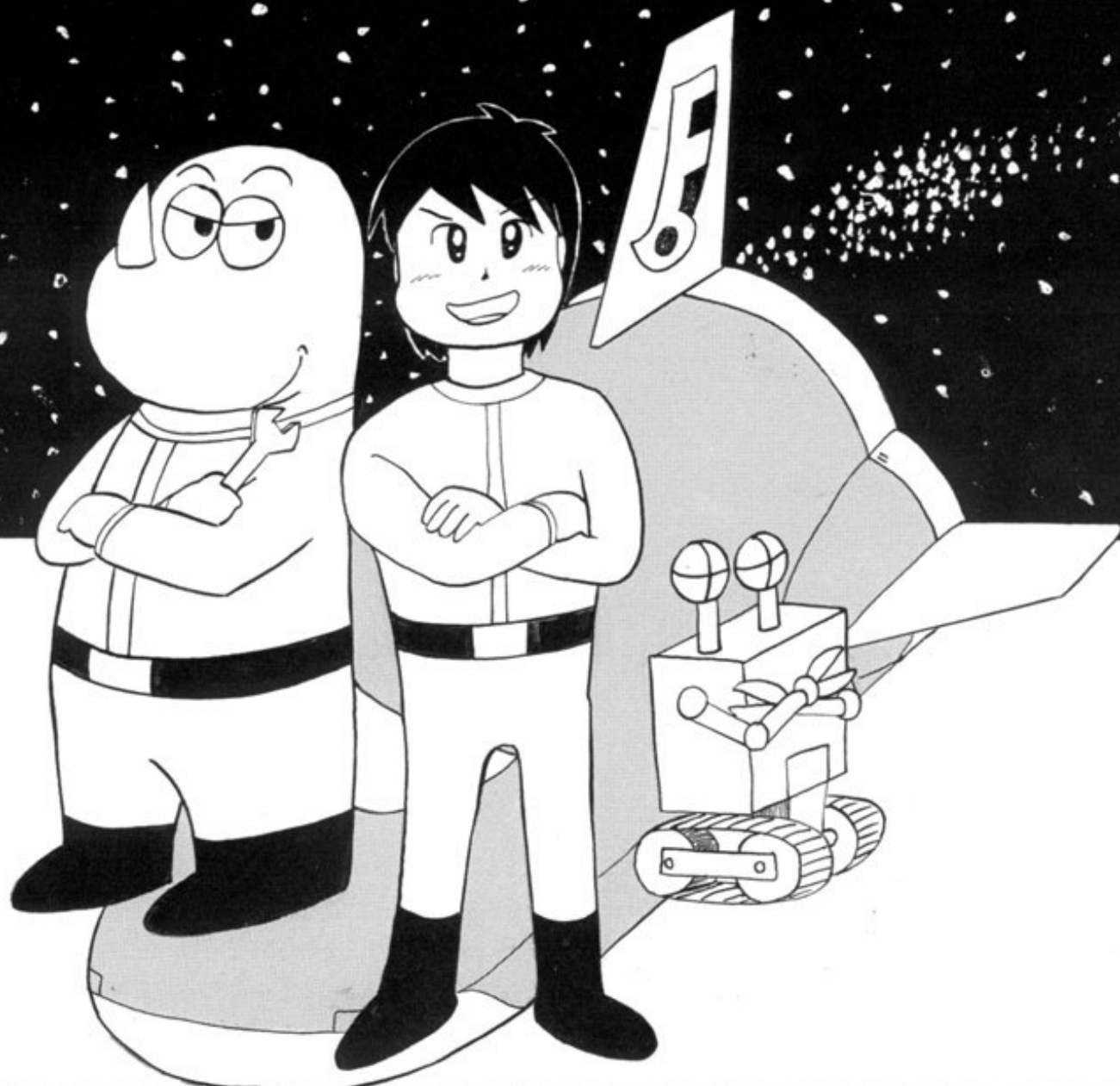
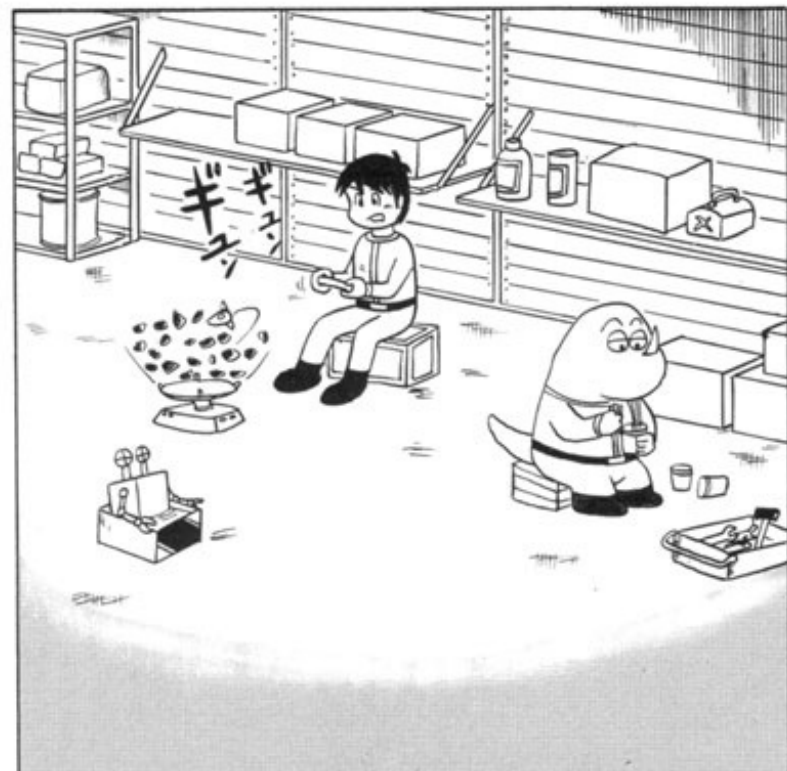
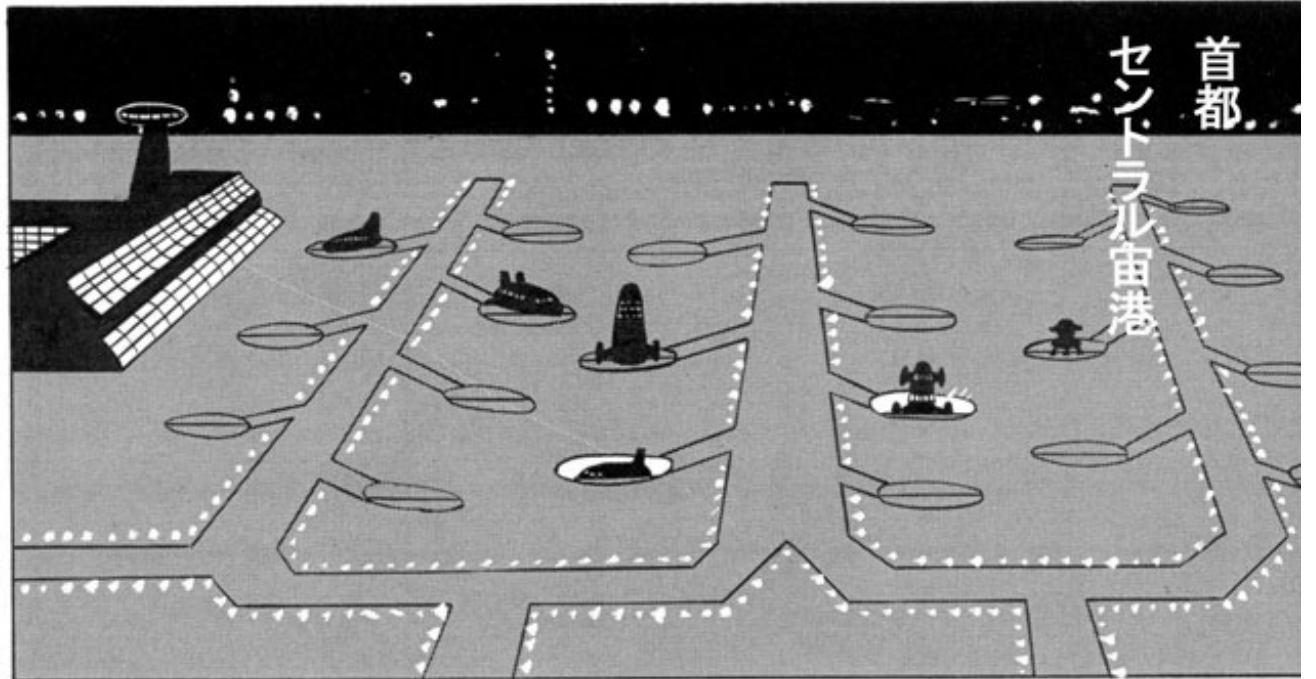
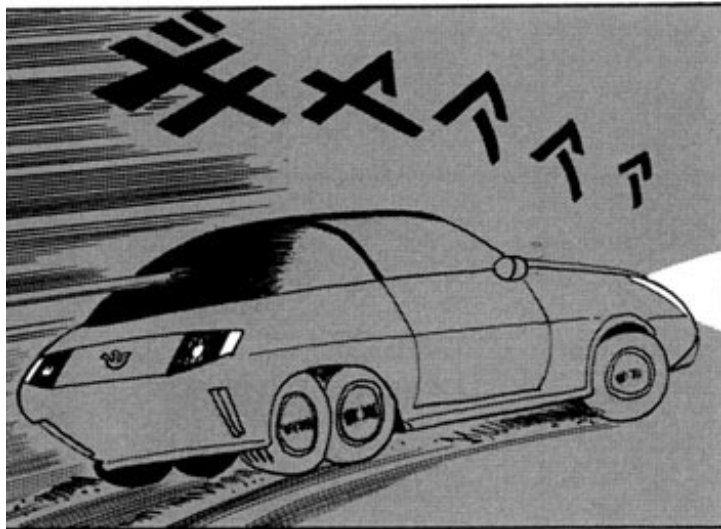


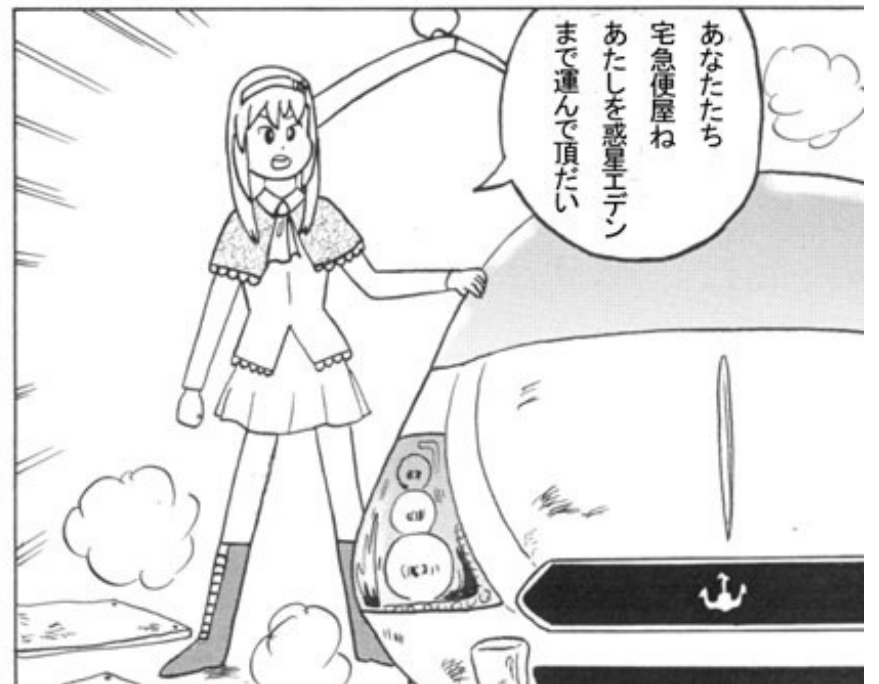
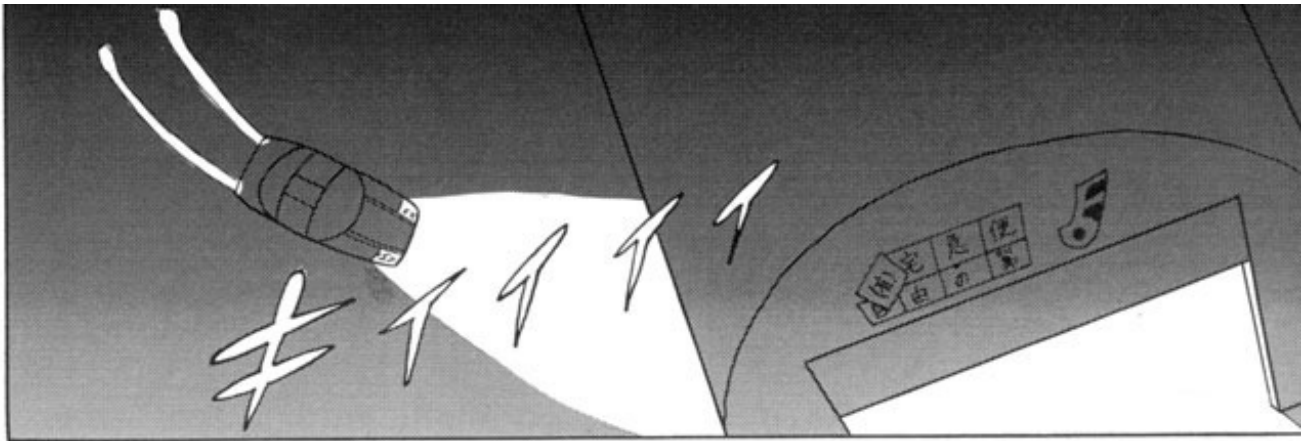
スペース宅急便

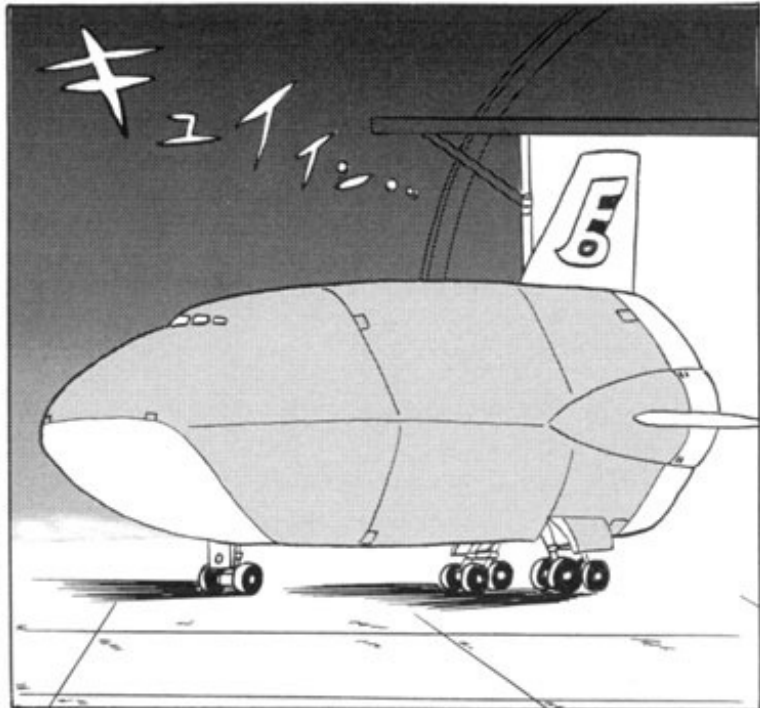
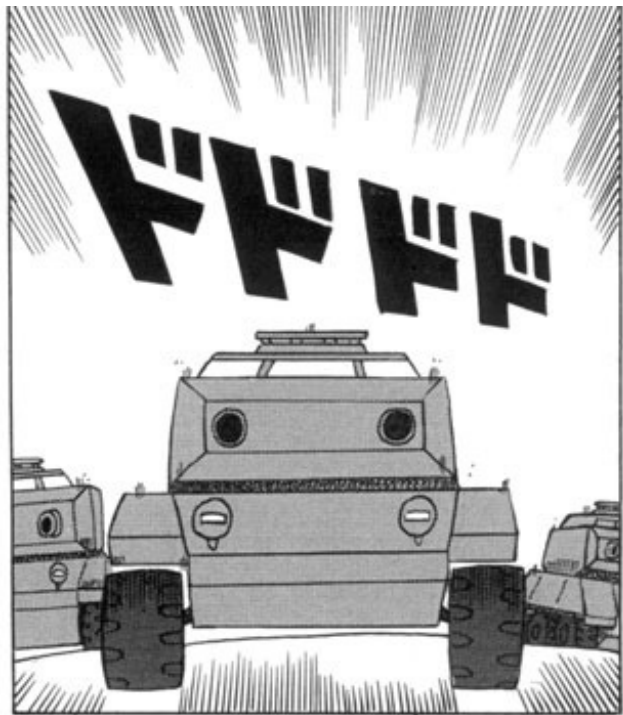
フリー ウィング

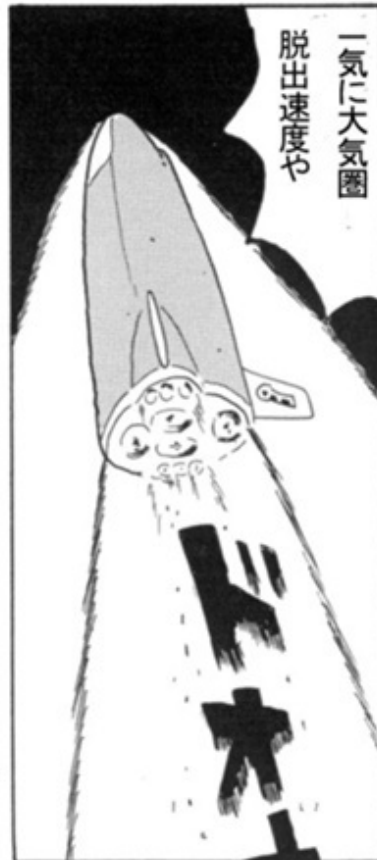
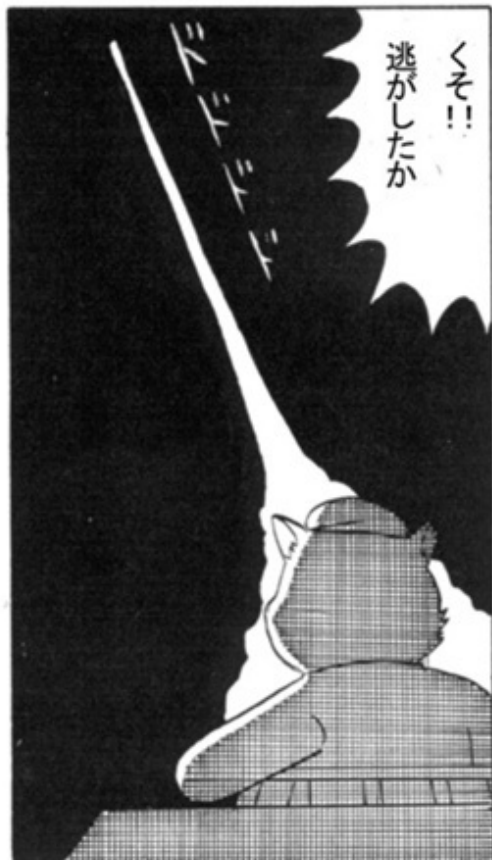
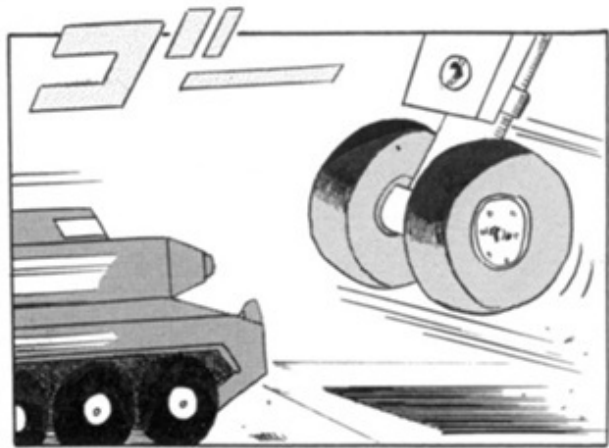
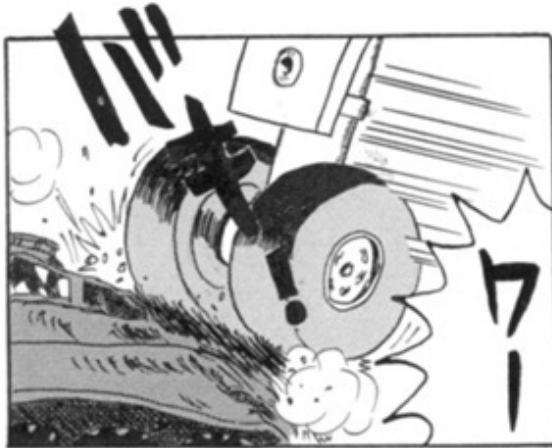


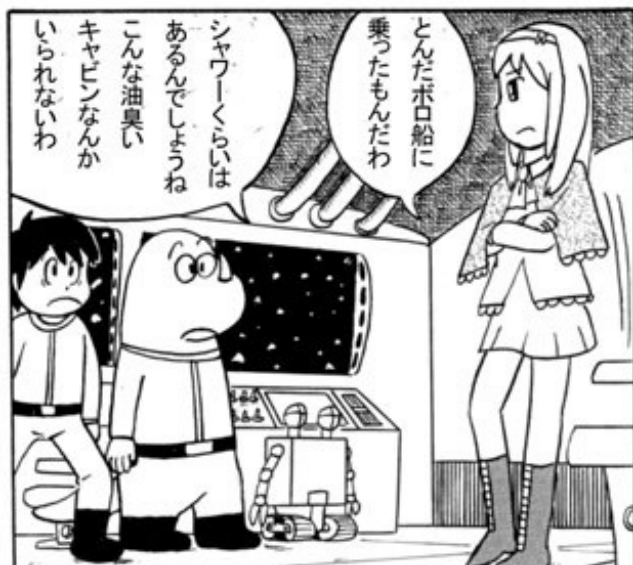
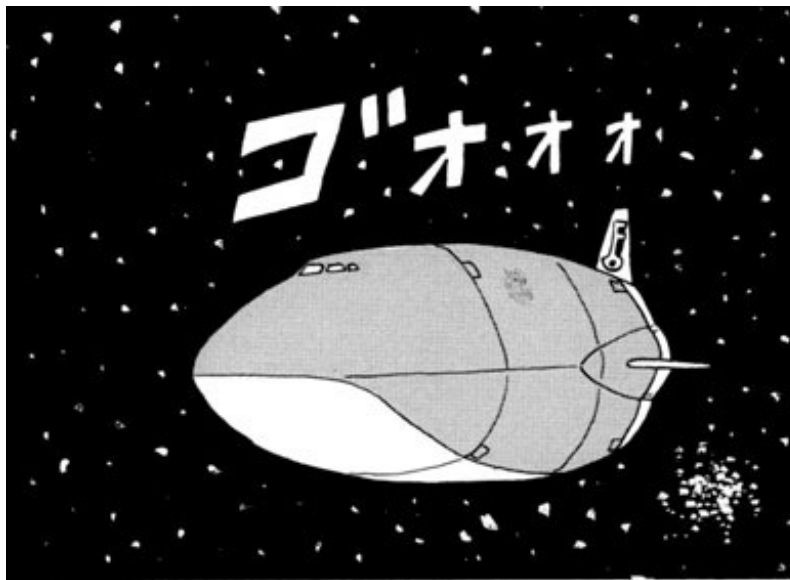








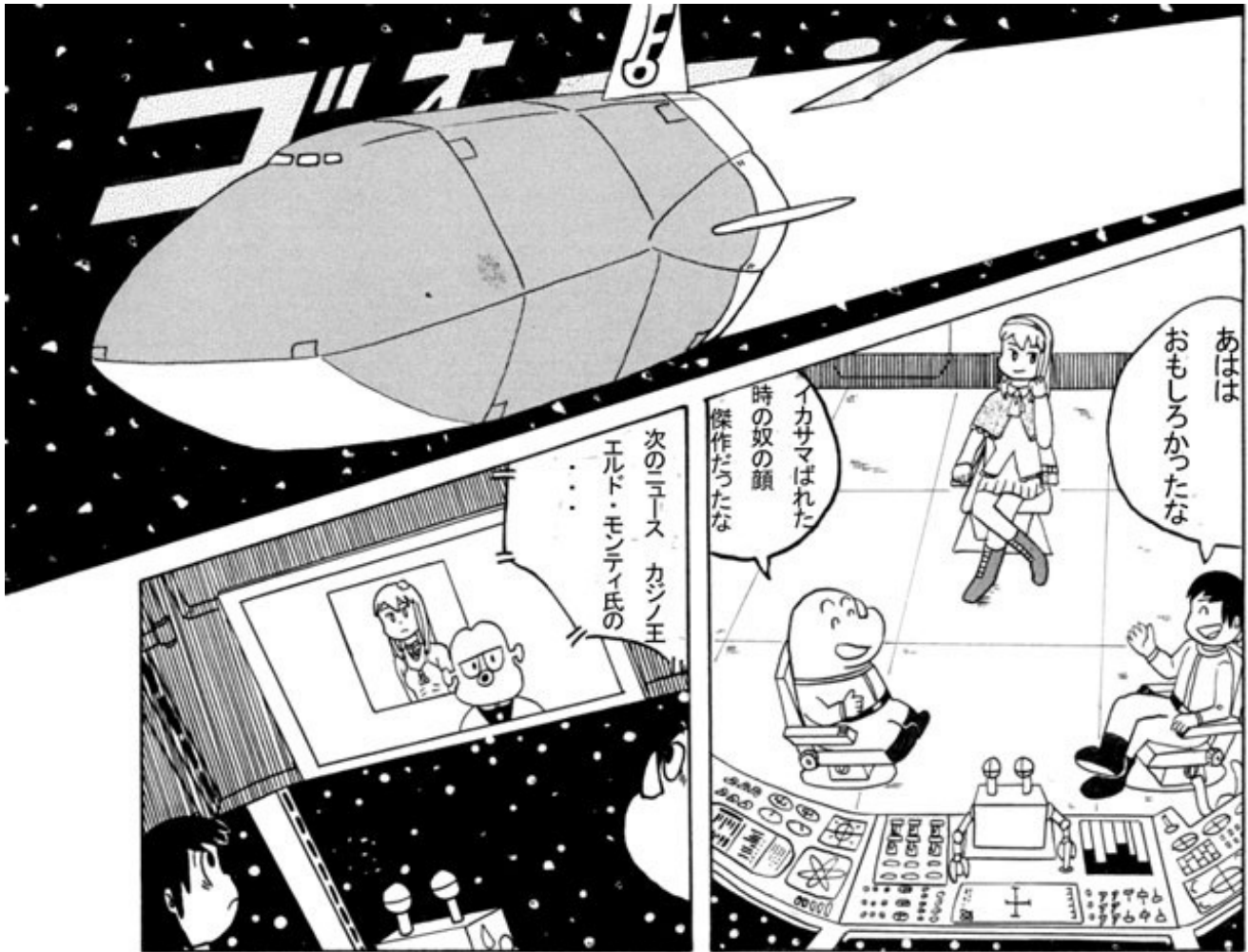












次のコース カジノ王
エルド・モンティ氏の
...

イカサマばれた
時の奴の顔
傑作だったな

あはは
おもしろかったな

令嬢マリア・モンティ
さんが昨夜より
行方不明となっていて
ことが関係者の話から
判明しました

え？

やばいよ
エルド・モンティ
って裏の顔は
マフィアだぜ

いつものか
誘拐犯に
ヤレてる...

お願いこのままエレンへ行って
どーしても行かなければ
ならないの

あたしは
幼い頃から
一人ぼっち
だった

いつもボディガードが
ついて
学校も
行かず

厳しい家庭教師に
教育を
受けていた



あたしは父という籠に
閉じ込められた鳥だった
でもロイという
家庭教師はあたしに
凄く優しく接してくれたの



彼ならあたしを
父の籠から連れ出し、
自由にしてくれると思った



でもある日
彼は何も言わず
屋敷を
出て行った



父はロイは
家の事情で
故郷の
エデンに
帰ったと言っただけ

でもすぐにわかった
父が彼を
追い出したって



だからどうしても
彼に会って
気持ちを
確かめたいの
そのために家を
飛び出してきたのよ





後方より
高速船
急速接近中

ドドド



わかった
おれにまかせろ
絶対連れてって
やる

エー!?



武装高速
クルーザーや

父が雇った
傭兵部隊だわ

ナビ助
全速だ!!

これで
めいほうさ



おれに
操縦桿を
回せ

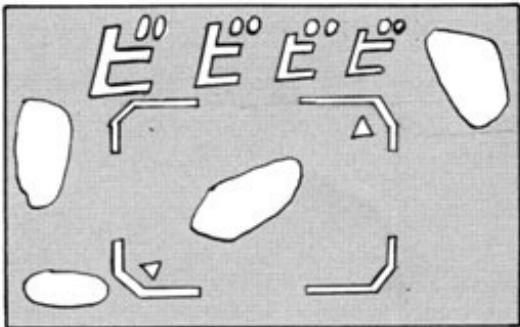
無茶や

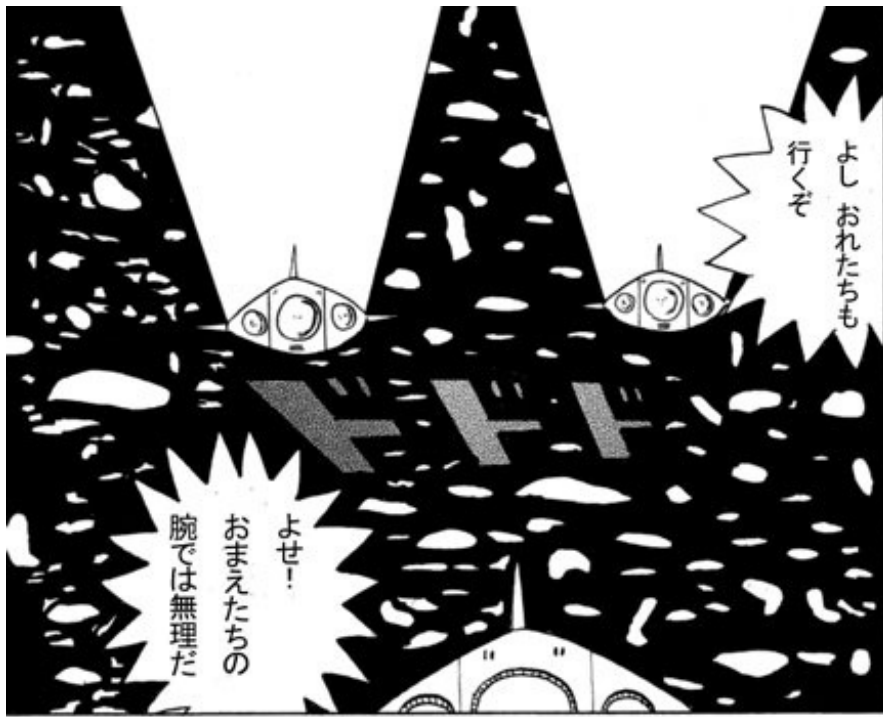
よしそを
突っ切って
ジャンプ点に
向かうぞ



確かこの宙域は
大アステロイドベルトを迂回して
ジャンプ点に向かう
航路だったな

↑△





よし おれたちも
行くぞ

よせ！
おまえたちの
腕では無理だ



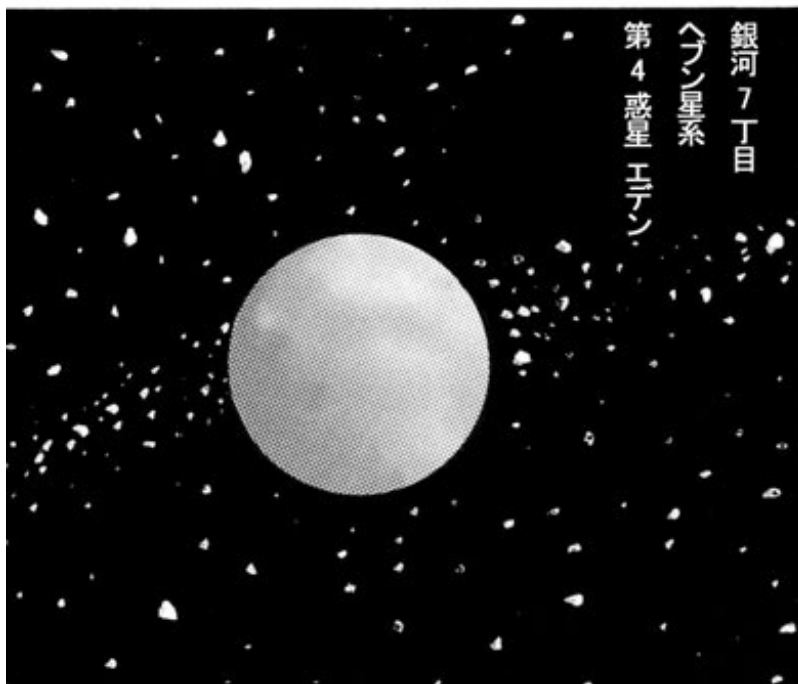
なんてやつだ
あのでかい図体の
船を自在に
操つてやがる

アステロイド
ベルトを抜けます



うわあああ
ぶぶづかる
!!

DANGER

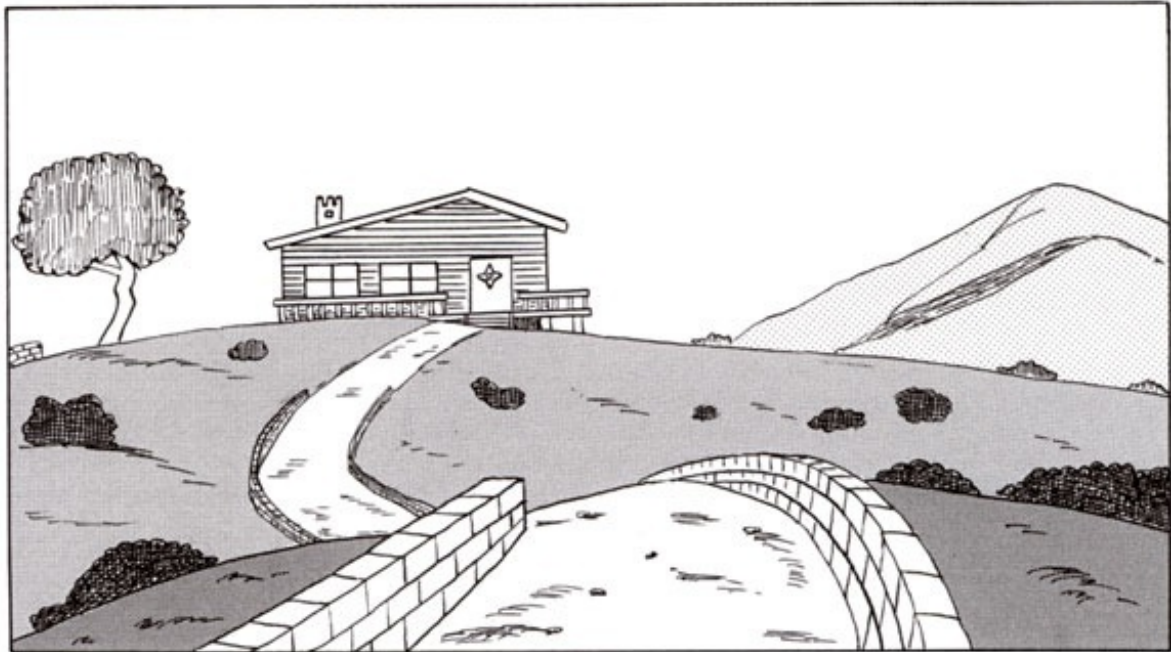
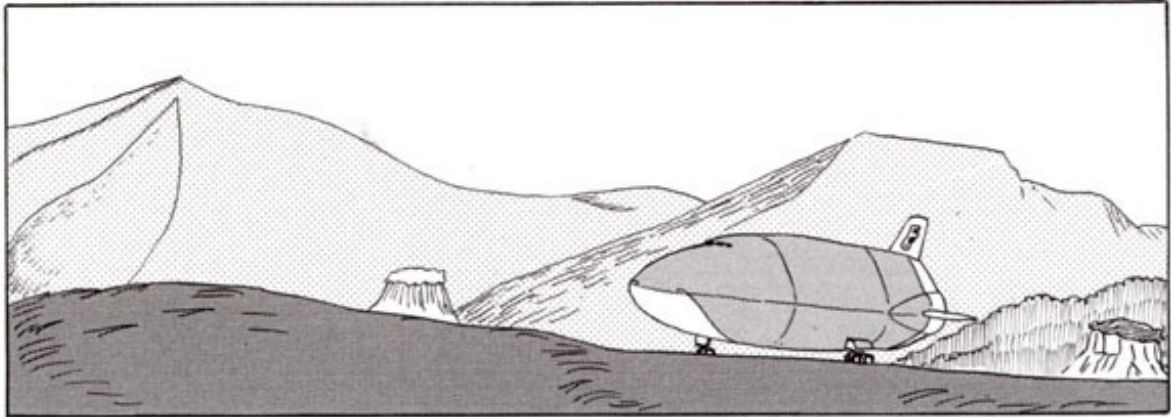


銀河7丁目
△行星系
第4惑星 エテン



どうします大佐
追いますか？

いや
部下の救出を
優先する





く
待ち伏せか

我々の方が
脚は速いからな
それに元々
行き先も
わかっていたし

フン
少し脅された
くらいで
女を捨てて
逃げるような男
など片腹痛いわ



さあ
お嬢さん
我々と一緒に
父上のもとに
お帰り願
い
ましようか

